

第7回ともに暮らす地域交流会（記録）
～みんなで楽しむ ミニ運動会～
【遊んで知ろうよ。あなたの気持ち・わたしの気持ち】



こどもはみんな遊びの天才です。ハンディのあるなしに関係なく、体を動かして触れあえば笑顔があふれます。

今年度の「ともに暮らす地域交流会」は、佐倉東部地区の協力のもと、ちゃれんじどフィットネスクラブ（佐倉市・順天堂大学）を主体とした楽しめるプログラムで交流し、ともに暮らす社会について考える機会としました。

日 時：平成28年2月27日（土） 午前10時～12時

会 場：佐倉市立白銀小学校 体育館

参加者：102名（スタッフ含む）

プログラム

開会式；開会の言葉、主催者あいさつ（佐倉東部地区社会福祉協議会）

準備体操；ふるさと体操、ストレッチ

大玉ころがし；赤白組に分かれて、2人1組で大玉を引いてのリレーです。

まねっこ玉入れ；赤白組に分かれて全員参加で2回戦実施。ちょうちょやそうさんのまねっこして、音楽がとまると玉入れです。

障害物競走「人生山あり谷あり」；赤白組に分かれて一人ずつスタート。フラフープをくぐり、ブルーシートをくぐり、ポールをまわって、平均台、けんけんぱです。

休憩（参加者の感想をお聞きしました。）

リレー；赤白組に分かれて全員参加でリレー。1巡目の行きはボールを頭の上から、帰りは股の間からリレー。2巡目はみんなで手をつなぎフラフープを落とさず渡すリレーです。

みんなで踊りましょう♪（踊るポンポコリン）

整理体操

閉会式；閉会の言葉、主催者あいさつ（佐倉市障がい者団体等連絡会会長）



主 催：佐倉市障がい者団体等連絡会、佐倉東部地区社会福祉協議会

後 援：佐倉市、佐倉市社会福祉協議会

協 力：佐倉市ボランティア連絡協議会

ちゃれんじどフィットネスクラブ

（佐倉市手をつなぐ育成会・佐倉市・順天堂大学）

佐倉東部地区地域連携会議

（NPO法人木ようの家、佐倉地域包括支援センター、ワーカーズコープ）

実行委員会

佐倉市障がい者団体等連絡会

（佐倉市手をつなぐ育成会、NPO法人木ようの家、手をつなぐさくら）

佐倉東部地区社会福祉協議会、佐倉市ボランティア連絡協議会

■閉会式での子どもたちへのインタビューです。

- ・赤組はもっともっとがんばって欲しかった。
- ・運動しすぎてHP*が無くなったけど楽しかった。
- ・楽しかったのは 障害物／玉入れ／大玉ころがし
ぜ〜んぶ 楽しかった。

*HPとは：ゲームで攻撃を受けた時、ダメージを引かれていくキャラクターの体カポイント。Hit Point、Heart Point、Health Point など。

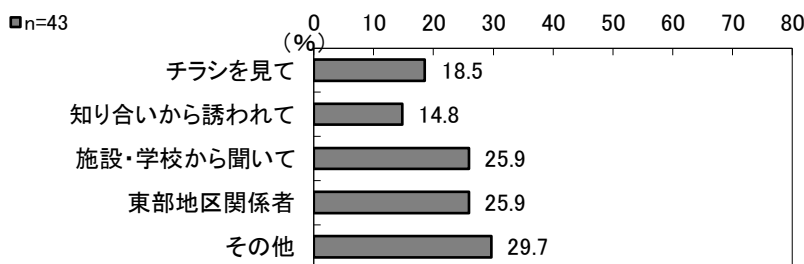
■アンケート結果です。

□あなたは（回収数：54 枚）

男性 43%、女性 57%

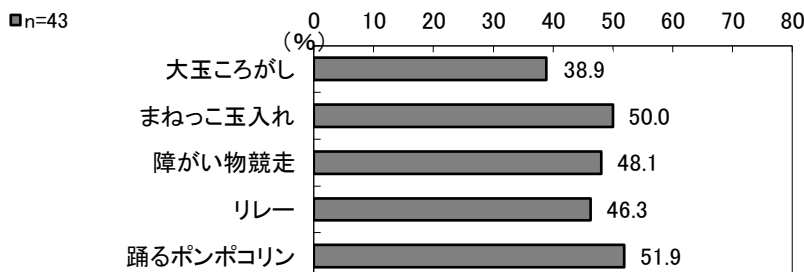
保育園・幼稚園児など 7%、小学生 23%、中・高生 9%、一般 64%

□ミニ運動会はどうやって知りましたか？



その他は、障がい者団体関連(6)、木ようの家(3)、ちゃれんじど関連(3)、V連関係(2)、民児協など(1)です。

□楽しかったプログラムは？



子どもたちの一番人気は「大玉ころがし」、大人は「踊るポンポコリン」でした。

□今日の運動会はいかがでしたか？

大人も子どもたちも「とても楽しかった。」「良かった。」という声が多数です。

【その他の大人の回答】

- ・大勢の参加。とても盛り上がり、あっという間の時間でした
- ・いろいろな方と交流でき、企画も楽しくとても良かったと思います。
- ・みんなの笑顔がすてき／皆の笑顔がとてもうれしく思いました。
- ・大学生の皆さんの進行がとても上手で、競技内容もよく工夫されていました。
- ・踊るポンポコリンきつかった。／思ったより自分の体が動かなかった。

【子どもたちの回答】

- ・いろいろ準備をしてくれてありがとうございました。
- ・きょう負けちゃったけど、またあるなら、そのときはぜったい勝ちたいです。

□地域でやってみたいことは？

【大人の回答】

- ・佐倉東部地区のみでなく、全地域に拡げられれば。
- ・音楽（みんなで歌って、踊って）

【子どもたちの回答】

- ・みんなが楽しめるものをやりたいです。
- ・ダンス／料理をみんなで作ってみたいです。